

○堀口逸子 西方寿和 中村清徳 神崎昌二 中村譲治 筒井昭仁・
福岡予防歯科研究会、福岡歯科大学予防歯科学教室*

要約：ヘルスプロモーションを基盤に、職場における歯周疾患予防プログラムを開発、実施している。口腔保健状況をプリシード/プロシードモデルに基づいた質問紙による調査で把握した。調査結果から社員の多くが歯周に症状を持っており、さらに企業、社員の双方が口腔内状況に起因して不利益を被っていた。また、口腔保健のための健康学習教室参加のニーズは高かった。使用したモデルは口腔保健状況、及びそれを左右する各種要因を関連づけて把握することにおいて有用であった。(索引用語：プリシード/プロシードモデル、ヘルスプロモーション、産業歯科保健)

目的

産業歯科保健の現場では疾病を検出する検診事業が主であり、予防や健康教育プログラムの実践例はあまり見られない。勤労者のセルフケア能力を高めることを目的とした健康教育の実践にあたっては、勤労者を取りまく環境の整備をも含めたヘルスプロモーション的アプローチが有効と考えられる。この度は、健康教育プログラム策定のために、企業における口腔保健状況の実態および問題点の把握を行うことを目的とした。

対象および方法

実態および問題点の把握のために、ヘルスプロモーションを基盤にした新しい健康教育モデルであるプリシード/プロシードモデルに基づいた36項目からなる質問紙を開発し、福岡市に本社をおく製造業の企業(従業員約600人)の本社勤務者170名を対象として、1996年9月に質問紙調査を実施した。

診断はプリシード部分の「社会診断」から始め、左へ順に「疫学診断」、それを大きく左右するであろう「行動・環境診断」、そして「教育・組織診断」を行った。

結果

有効回答率は86.5% (男128名、女19名)で、平均年齢は38 (SD=12.2) 歳であった。質問紙調査結果をプリシード/プロシードモデルにそって図1に示した。「社会診断」では、現在、53%の社員が口腔内状況が原因でQOLに関わる困りごとを持っており、企業にとっても欠勤等の不利益がみられた。「疫学診断」では80%以上の社員が歯周に関する自覚症状を持っていた。「行動・環境診断」の保健行動に関しては、歯間ブラシやフロスの使用率、定期健診の受診率、社内での歯磨きや、社内に歯ブラシを保管している割合は少ない傾向を示していた。喫煙習慣をもつものは約40%、間食の摂取は93%と高い割合を示していた。「教育・組織診断」の3因子で特徴的なものをあげると、「準備因子」において社員の口腔に対する意識は高く、充足しているようだが、「実現因子」の具体的な予防法の技能に関する不足や職場に気軽に歯科医院へ行けるような雰囲気がないなど不十分な点もみられた。また、健康学習教室の参加については73%が希望していた。

考察

新たな健康教育モデルとして最近利用が盛んなプリシード/プロシードモデルは、ヘルスプロモーションの原則を基盤とし、現状の問題点とそれに影響する各種要因を関連づけて幅広く把握でき、また、問題解決のためのプログラム策定、実施、プロセス評価がひとつのモデルに集約されていること等を特徴としている。今回、この質問紙から、プリシード部分において各種問題点を関連づけて明らかにすることができた。口腔の改善には検診のみでなく健康教育の活用が必要と思われる、この質問紙は実態把握に加え健康教育プログラム策定への応用ができて有用であると考えた。

.....プリシード.....

教育・組織診断

準備因子

- ・歯周病関連用語の認知数：5.7/10項目
- ・たばこは歯周病に関係している：28%
- ・歯周病は年齢だから仕方がない：3%
- ・歯周病は自分の努力で防げる：68%
- ・歯周病は定期健診で予防できる：86%
- ・歯の治療へは？
 - 勤務中：25%
 - 勤務外：29%
 - 有休：35%

行動を起こす前の知識、態度、価値観等

強化因子

- ・周りの同僚が社内で歯磨き：73%
- ・歯石除去の体験がある：76%
- ・歯科医院でのTBIの体験がある：39%
- ・歯石除去の感想-よかった：42%
- ・歯科医院でTBIを受けた後の感想-よかった：35%

まわりの人のサポートや行動を起こした後の感想

実現因子

- ・セルフケアの方法をしっている：23%
- ・かかりつけ歯科医院がある：40%
- ・職場の理解（治療に行く）：18%
- ・勤務中に治療に行く気兼ねがある：42%

行動の実現を助けるもの

行動・環境診断

保健行動

- ・歯間ブラシ、フロスを使っている：33%
- ・現在定期健診を受けている：15%
- ・社内で歯を磨いている：18%
- ・歯ブラシを社内に置いている：37%
- ・間食をよくとる：93%
- ・タバコを吸う（1日20本以上）：38%

疫学診断

健康

- ・噛めない：33%
- ・動揺：27%
- ・排膿：16%
- ・歯が浮く：35%
- ・腫脹：33%
- ・出血：75%
- 平均：2.19個
- ・症状有り：83%

自覚症状

社会診断

QOL

- 歯が原因で
 - ・欠勤、早退、遅刻があった：17%
 - ・仕事に支障があった：12%
 - ・よく眠れなかった：11%
 - ・おいしく食事とれなかった：31%
- ・現在困りごとがある：53%

社員・会社にとっての損失は？

プリシード/プロシード・モデル

Green, LW et al.: HEALTH PROMOTION PLANNING
An Educational and Environmental Approach 2nd Ed., 1991

PRECEDE： 診断と評価に関わる。実施に先立って行われる。
(プリシード) Predisposing, Reinforcing, Enabling Constructs in Educational/environmental Diagnosis and Evaluation

PROCEED： 計画実施に関わる。RECEDEに続いて行われる。
(プロシード) Policy, Regulatory, and Organizational Constructs in Educational and Environmental Development

.....プロシード.....

図1 調査結果

連絡先：堀口逸子、〒810 福岡市中央区大名1-15-24 Well-Being BLDG.2F. 福岡予防歯科研究会
TEL：092-771-5712. FAX：092-741-8037